

「立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言」コラボレーション企画

「しょうがいしゃ差別を〈語り〉なおす」



講師：荒井 裕樹
(あらい・ゆうき) 氏

二松学舎大学文学部准教授。
東京大学大学院人文社会系研究科修了。博士（文学）。
専門は障害者文化論、日本近現代文学。
著書に『障害と文学：「しのめ」から「青い芝の会」へ』（現代書館、2011年）、『障害者差別を問いなおす』（ちくま新書、2020年）、『まとまらない言葉を生きる』（柏書房、2021年）、『凜として灯る』（現代書館、2022年）、『障害者ってだれのこと？：「わからない」からはじめよう』（平凡社、2022年）などがある。
2022年、「第15回（池田晶子記念）わたくし、つまりNobody賞」受賞。『朝日新聞』文化面に「荒井裕樹の生きていく言葉」を連載中。

2022年 11月25日（金）

18:00～19:30

立教大学池袋キャンパス 8号館1階 8101 教室

日本では 2016 年に障害者差別解消法が施行され、しょうがいしゃが生きていくための社会資源は整えられつつあるようにも見える。しかし、一方でそうした努力を根底から否定するような事件が起き、しょうがいしゃが日々の暮らしに不安を覚えるような空気が漂っている。

戦後、しょうがいしゃは差別を乗り越えるために社会に対してさまざまな異議申し立てを行ってきた。本講演では、当事者たちによる反差別運動の歴史と理念を振り返り、「さまざまな人々が共に生きる社会」の在り方について考える。その際、特に「ことば」という面から、差別の問題を捉えなおすことを試みる。

対面・オンライン（YouTube Live 配信）併用

対象：本学学生・教職員、一般

要申込

申込期限：11月16日（水）午前10時

- * 新型コロナウイルス感染症感染対策として、対面は一定数の定員を設けます。会場参加希望者が一定数を超えた場合は抽選。落選した方はオンライン参加になります。
- * 本学学生・教職員は、V-Campus ID @rikkyo.ac.jp のメールアドレスにてお申込ください。
- * 申込された方には、11月24日（木）までに参加方法等を eメールでお知らせします。
- * 感染状況によっては、オンラインのみに変更します。

申込はこちら ▶

申込フォーム URL：

<https://forms.gle/7gAwQMuVtu9iFKct8>



●主催・問合せ● 立教大学 人権・ハラスメント対策センター

✉ jinken@rikkyo.ac.jp

☎池袋 03-3985-3192

☎新座 048-471-7396